

緑陰通信

News from the shade of trees

未来へつなぐみやざきの 神話・民話継承人財育成事業

平成31年1月13日(日)、研修ホールにて「語り部のつどい」を開催しました。

県立図書館では、平成28年度から「未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業」に取り組み、郷土の言語文化である神話・民話の講演会や語り部養成講座を県内各地で開催してきました。

語り部のつどいは、宮崎の神話や伝承、民話等に関する著名な研究者を招いて知識を深めたり、県内で活動する語り部がお互いに情報交換を行ったりするなど、広く一般に関心を持つていただくことを目的に実施しています。

語り部のつどい

を開催しました!



今回の午前の部では、講演会を行いました。皇學館大学の橋本雅之教授から「日向から権原へ-神武天皇即位の道」と題してお話をいただきました。「日本書紀」(巻三)にある神武天皇東征についてのわかりやすい解説があり、参加者からは「日向神話は頭の中に入っていましたが、権原への道が漠然としていました。今回、道筋がついたように思います」、「古事記、日本書紀のお話は、日本人のルーツらしい心和むものでした。より身近になりました」などの感想をいただきました。

午後の部では、これまで語り部養成講座を受講された方々が、語りを実践しました。はじめに4名が民話を、続いて3名が神話を語りました。神話と民話の語りの間には、養成講座の講師を務めた県立看護大学の大館真晴教授から内容の解説をしていただきました。普段とは異なる場での語りに、みなさん緊張した様子でしたが、衣装もそれぞれに工夫があり、すばらしい語りの披露となりました。最後に、普段の活動が紹介され、県内各地でのみなさんの活躍ぶりがうかがえました。

終了後も参加者同士での活発な情報交換が続き、「活動の場が増えそう」といった声も聞かれました。



「黒板アートコンクール」を開催

今年度は、幅広い世代に宮崎の神話や民話に興味を持っていたごとく、神話・民話をテーマとした黒板アート作品のコンクールも実施しました。応募作品の中から、川口愛莉さん(宮崎商業高校2年)がグランプリに選ばれ、語り部のつどい開会にあわせて表彰式と作品の披露を行いました。川口さんは、語り部のつどいを盛り上げようと前日に来館し、会場内の黒板に応募作品を描いてくださいました。

なお、準グランプリには、「門高お絵かき隊」(門川高校)が選ばれました。

県立図書館では、今後も、神話・民話の普及啓発を図り、宮崎の言語文化の継承の一助となるようさまざまな取組を行っていきます。



小林邦雄コレクション 若山牧水遺墨展の実現



宮崎県民に鑑賞していただきたい」というご遺志に基づいて実現したものです。

収集された遺墨は、牧水の全集・全歌集・日記のいずれにも記されていない未発表の貴重な歌をはじめ、30代から晩年にかけての幅広い年代にまたがる牧水の書の数々が含まれており、今後の牧水研究の発展に大いに資するものです。とりわけ、牧水の没後90年という節目に、これほどの価値ある資料を多数寄贈いただいたことは、大変に意義深く、喜びに堪えません。



て開催しました。期間中は1,400名を超えるたくさんの方にご来場いただきました。

今後も、小林氏を末永く顕彰とともに、哀悼と感謝の意を込めて、「小林邦雄コレクション」を紹介する展示会を積極的に展開していきたいと考えていますので、県立図書館へぜひ足をお運びください。

■「大人のためのおはなし会」を開催

県立図書館では、毎週火・水・土曜日の週3回、子ども向けのおはなし会を行っています。いまは大人も楽しめる絵本がたくさんあり、話題にもなっていますね。そこで、年齢を問わず気軽に楽しんでいただきたい、多くのみなさまに本の新しい魅力を発見していただきたい、という思いを込めて、大人の方に向けた絵本の読み聞かせ「大人のためのおはなし会」を企画し、平成30年度は3回(6月、9月、1月)実施しました。

お連れのお子さまも大歓迎。参加者のみなさまと一緒に楽しく絵本の世界に入ることができました。ご参加いただき、ありがとうございました。

1月の「大人のためのおはなし会」で紹介した本

タイトル	著者名	出版社名	出版年
ハグくまさん	ニコラス・オールドランド／作	クレヨンハウス	2011
いつしょだよ	小寺卓矢／写真・文	アリス館	2012
紙のむすめ	ナタリー・ベルハッセン／文、ナオミ・シャピラ／絵	光村教育図書	2013
よあけ	ユリー・シュルヴィツツ／作・画	福音館書店	1977
そらはあおくて	シヤーロット・ゾロトウ／文、杉浦さやか／絵	あすなろ書房	2018
もももすももも	新井洋行／作	講談社	2018
べんけいがうんとこどっこいしょ(わらべうた)			



写真は未発表作品



ラーニングコモンズの場を提供します（利用者募集）

県立図書館は、平成29年12月に策定した「宮崎県立図書館ビジョン」において、地域や県民の自主的・自発的な学習活動を支援するため、深い学びや課題解決につながる「知の共有・創造」の場づくりに努めていく方針を掲げています。その具体的な取組のひとつとして、休憩ルームの2階ロビースペースを、知的交流（ラーニングコモンズ）に対応した新しい学びのための場としても活用し、積極的に提供していくこととしました。

ラーニングコモンズとは

グループで集まり、電子情報や印刷物などさまざまなメディアによる情報を使って対話や議論、交流を進める形で行う多目的な学習スタイルを支援する場・施設です。主に大学図書館で導入されて発展し、学生が授業を聴く（知識を理解する）だけでなく、自主的に学習・研究して成果を伝える（問題を解決し、知見を深め、発信する）ための学習支援に寄与してきました。普及が進むインターネットや通信・電子機器をツールとしながら、学習コミュニティのための空間として広がりを見せてています。



県立図書館が提案するのは、2～10名程度のグループで、図書館の資料を活用しながら読書活動や学習、ディスカッションなどができる、深い学びの場としてどなたでも利用可能な貸切空間です。現在、その利用者を募集しています。

◆提供施設 2階ロビースペース（木質・非木質スペース）



◆利用可能日 県立図書館の開館日と同じ
(開館日でも利用できない場合があります)

◆利用時間 ①9:30～11:30
②13:30～17:00 のうち2時間以内
(①と②のいずれか1日1回です。)

木質スペース

非木質スペース

◆利用の目安

グループによる図書館資料を活用した学び（ラーニングコモンズ）の場として、自由に動かせるテーブルやイスのほか、ホワイトボード、貸出機材等を使った自主的な学習・研究、ワークショップなどに貸切で利用できます。宿題や試験勉強、個人の学習・読書には、貸切利用できません。図書館ですので、必要以上の大きな声や音を出さないよう注意してください。そのほか利用上の注意事項をお守りください。

◆お問い合わせ 総務・企画課企画担当(0985-29-2911)

2階ロビースペースを使った「春の読書会」を開催します

県立図書館で貸し出している本からお気に入りの1冊をお持ちいただき、少人数限定のスペースでゆったりとページを開く、いつもの閲覧室とは異なる読書空間での読書会です。お気軽にご参加ください。

◆開催日時 3月21日（木・祝）15:00～16:00

◆場所など 2階ロビースペースにて（定員9名、要申込）

◆お問い合わせ 情報提供課普及支援担当(0985-29-2956)



ミニガイド 著作権の保護期間について

今回は、資料を図書館で複写するために必要な法律「著作権法」の改正についてお伝えします。

平成30年12月30日に環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（TPP11協定）が発効されたことに伴い、著作物等の保護期間の延長等を含めた改正著作権法が施行されました。それまで著作物等の保護期間は、原則として著作者の死後50年まででしたが、延長されて死後70年となります。例えば、昭和43年（1968年）に亡くなった方の著作物の保護期間（原則）は、従来は平成30年12月31日まででしたが、さらに20年長く保護されることになります。

文化庁のホームページに「著作物等の保護期間の延長に関するQ&A」が掲載されています。保護期間がどう変わったか、既に切れている保護期間はどうなるのか、など詳しく解説されていますので、参考にしてください。

「著作物等の保護期間の延長に関するQ&A」

http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuen/hokaisei/kantaiheiyo_chosakuen/1411890.html



県立図書館からのお知らせ



■新着図書の案内コーナー



『業種別業界情報 2019年版』

350業種について各業界特有の最新動向・マーケットデータ・業界の特性・ノウハウ・今後の課題と将来性を調査・分析しており、的確にわかりやすく解説しています。また、見開き1業種別になっており、見やすくなっています。ビジネス情報コーナーに所蔵しており、貸出はできませんが、著作権法に基づく範囲内での複写は可能です。業界動向を知る上での参考となるのではないでしょうか。



『私ががんから救った8つの知恵』

著者は民俗学者、37歳で子宮体がんになり、76歳の現在は4つのがんを乗り越え、今なお精力的に仕事もしている。がんを克服していく生き方や、食べることを含めた生きるための知恵が満載。二人に一人はがんになる時代。ぜひご一読ください。



『いつかあなたがおおきくなったら』 エミリー・ワインフィールド・マーティン／さく(サンマーク出版)

この世界にやってきたばかりのあなたは、これからどんなすべきなことをするのだろう…。親が子どもの幸せを願うきもちと、希望にあふれる子どもの姿を鮮やかに描いた絵本です。

■第61回「こどもの読書週間」関連行事

4月23日は「子ども読書の日」です。県立図書館では、この日の前後約3週間(今年は4月16日(火)～5月6日(月))を「こどもの読書週間」として、絵本の読み聞かせなど子どもたちに読書の楽しさや喜びを感じてもらえるような催しをしています。ぜひファミリーでご来館ください。

◆子育て講座「絵本とわらべうたで楽しく子育て」

4月27日(土) 10:00～11:30

講師:高野和佳子氏(NPO法人子育て支援ワーカーズペペペラん代表)



◆ワークショップ「牛乳パックを使ったくるくる絵本」

(図書館の児童室職員によるかんたんな工作体験)

5月3日(金) 10:00～11:30

◆「英語でたのしむおはなし会」(英語の絵本の読み聞かせやゲームなど)

講師:マーシュ・グレアムさん(宮崎県国際交流員)

5月5日(日) 11:00～12:00

※いずれも事前に申込が必要です(情報提供課情報提供担当(0985-29-2596))。このほか、読み聞かせや絵本の展示、映写会などもあります。



昨年度の様子

■図書館見学のご案内

県立図書館では、ご要望をいただいた団体のみなさまを対象に、館内の施設見学を実施しています。当館の歴史などの説明のほか、普段は一般来館者が立ち入ることのできない書庫をはじめとするバックヤードの案内や図書館職員の仕事についての説明を行います。所要時間は約45分、一回の定員は15名以内(無料)ですが、それ以上の希望人数でも対応できる場合があります。お気軽にご相談ください。

◆実施日 週末・祝日・休館日を除く開館日

◆見学可能時間 9:30から16:30までの間

◆お問い合わせ 総務・企画課企画担当(0985-29-2911)

※事前に申込が必要です。希望日の3週間前までにお電話ください。



県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。
宮崎県

ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室：9:00～19:00
■児童図書室：9:00～17:00

休館日 ■毎週月曜日(祝日の場合翌日)
年末年始：12/29～1/4
特別整理期間：2月下旬

編集・発行

● 宮崎県立図書館

所在地 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1
TEL ■0985-29-2911 (総務・企画課)
FAX ■0985-29-2491 (総務・企画課)
HPアドレス ■<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

